

令和元年度 自己評価報告書

自己考察項目	具体的内容	平均点 5段階評価	分野別 100点満 点換算 平均点	自己考察項目	具体的内容	平均点 5段階評価	分野別 100点満 点換算 平均点		
1・仕事への姿勢	(1)積極性	自分の仕事に積極的に取り組んだ	4.18	78.93	(1)仕事の正確さ	与えられた仕事を正確に処理した。	3.68	71.79	
		自分の仕事の範囲に限らず、拡大するよう努力した。	3.71			ミスやクレームが目立つことはなかった。	3.50		
	(2)協調性	触媒と一緒に働いているものと仲良く仕事できた。	4.14	82.62	(2)仕事の量	与えられた仕事を迅速に処理した。	3.68	81.07	
		他人が忙しい時に進んで手伝った。	4.07			仕事の量を故意に減らし、手を抜くことはなかった。	4.43		
		自分勝手な行動で問題を起こしたことはなかった。	4.18		(3)連絡・報告	仕事の進捗状況や結果を、上司に対して適切に連絡・報告した。	4.21	80.71	
	(3)責任制	与えられた仕事を最後まで責任をもって成し遂げた。	4.32	連絡の間違いや報告が遅れて仕事に支障をきたすことはなかった。		3.86			
	(4)規律性	職場における自分の役割を十分に果たした。	3.50	78.21	(4)保護者・接客対応	来客者に明るく爽やかに接した。	4.54	82.14	
		職場の規律(ルール)をよく守った。	4.39			保護者に明るく丁寧に接した。	4.46		
		上司の指示命令によく従った。	4.32			保護者連携を円滑に進めることができた。	3.89		
		守秘義務を十分に守ることができた。	4.89			電話の受け答えは適切であった。	3.54		
	(5)勤務態度	職場の秩序を乱す行動はなかった。	4.54	90.71	(5)創意工夫	与えられた仕事の遂行において、創意工夫、改善改良を試みた。	3.46	68.57	
		(5)勤務態度	始業時刻を守った。			4.36	仕事の効率化を目指して、先を見通しながら進めることができた。		3.39
		終業時刻を守った。	3.93			平均点			76.63
	(6)向上心	就業時間中は仕事に専念した。	4.36	84.29	評価項目の達成及び取組状況				
		自分の保育技能を高めようとした。	3.50		仕事への姿勢	個人個人が意欲的に取り組んでいるので、今後も高い志気を持ち続けられるように努力が必要である。			
		仕事に関する専門知識を広げようと心掛けた。	3.57		知識・能力	特に業務知識に関して個人個人の知識量に差があり、その格差を知事を縮める様な取組が必要である。			
	(7)自主性	研修に進んで参加した。	3.46	70.24	仕事の成果	努力の成果を何うことができるので、今後も信頼感がある仕事の取組を目指していきたい。			
		自主的、主体的に仕事に取り組んだ。	3.75		A	自己評価の総合的な評価結果			
	(1)業務知識	困った時や忙しい時に、すぐに他人に頼ろうとする安易な姿勢はなかった。	3.64	73.93		全体的に意識は高く、概ね目的は達成値にあると考える。			
		新・認定こども園教育保育要領の内容をよく理解している。	2.82		今後の取り組む課題				
2・知識・能力	幼保連携型認定こども園の制度について深く理解している。	2.71	59.46	専門的な知識において不十分な職員が散見されるので園内研修等を充実させる必要がある。					
	幼稚園・保育園・認定こども園の区別を理解している。	3.21		(2)理解力	上司の指示命令や連絡事項を正しく理解する能力はある。	3.68	72.50		
	担当する仕事を遂行する上において、必要な知識を十分習得している。	3.14			十分に幼児理解に努めた。	3.57			
(3)状況判断能力	仕事上で起こっている状況を正しく判断できる。	3.75	74.29	(3)状況判断能力	仕事上で起こっている状況を正しく判断できる。	3.75	74.29		
	普段とは異なる事態の発生に気づくことができる。	3.68			普段とは異なる事態の発生に気づくことができる。	3.68			